

～未来の担い手に建設業の魅力を伝えたい(第5弾)～

最新の建設機械を体験しよう！大学生を対象とした現場見学会を開催

2016 “地域インフラ”
関東 サポートプラン

江戸川河川事務所では、工事受注者（協力会社含む）と連携し、最新の建設機械を通して建設業界への興味を更に持って貰えるよう、土木専攻の大学生を対象とした現場見学会を開催しました。

今回の現場見学会では、最先端の土木施工技術を用いて、UAV（ドローン）による測量機器の操作見学からMC建設機械によるICT土工作業の操作体験をして貰いました。

○開催日：平成29年10月20日（金）

○場所：千葉県流山市深井新田地先

○見学者：東京理科大学土木工学科（9名）

○工事受注者：金杉建設（株）

協力会社：（株）新和測機、（株）アクティブソリューション、（株）TIAサビ、福井コンピュータ（株）

日立建機日本（株）、コマツ建機（株）、（株）イマギレ、日本キャピラー

3Dレーザースキャナー・UAVによる
起工測量操作見学



MCブルドーザの操作体験



MCバックホウの操作体験

～参加した学生からの感想～

●現場で大きな機械を操縦するという土木的な作業をするのは初めてで、これからもっと色々な作業を試みたいという気持ちになりました。また、今後の仕事への意欲が湧いてきました。先日は研修会の企画及び開催、本当にありがとうございました。

●実際の現場で使われている物に触れることで、ドローン等のICT運用に関する知識を更新でき、とても楽しくワクワクするものでした。最先端の技術に感動するだけでなく、この分野の普及に日本が出遅れているという危機感と、その対処として日本がICT普及に注力している様子を学ぶことで、日本の現場ののびしろと力強さを感じることができました。

●女性の私でも簡単に操作できることに驚きました。3Dスキャナーとドローンでは、計測や処理の方法がどのように異なるかを知り、今後UAV画像から座標への変換処理能力が向上すれば、土木分野での利用が更に増加すると感じました。

～見学会スタッフより～

今回の見学会は、専門分野の大学生・大学院生が参加していたため、専門性の高い質問もあり、スタッフとしてもやりがいのある見学会となりました。参加者の土木分野への興味も感じられ、とても有意義な研修会だったと思います。

また、参加して頂いた協力会社のみならず、大変お世話になりました。

H28江戸川管内土砂改良工事
監理技術者：金杉建設（株） 大島 亮